

3 2回目評価

3-① 自己評価 【 評価日 : 平成26年3月5日(木)】

評価者・組織(名称) : 学校評価委員会

分野	評価項目	評価指標	分析(成果と課題)	改善策
1 確かな学力	言語能力の育成	教職員・児童アンケートの意識分析 研究協議会の授業考査	言語能力の育成や子どもが主体の授業改善については、シンキングツールの活用等により少しづつ成果がみられるが、児童アンケートで「授業中進んで学習に取り組む」と答えた児童は40%程度である。	学習規律の確立や家庭学習の習慣化については、具体的な項目について統一して指導していく。 シンキングツールの積極的な活用を促すとともに、来年度も研究部を中心に国語科を窓口として言語能力の育成を目指していく。また、「読む」「書く」「聞く(聴く)」「話す」領域での系統的な付けたい力を明らかにする。
	子どもが主体の授業改善	教職員・児童・保護者アンケートの意識分析	学習規律の確立は、共通理解の基に徹底して指導しているが、ハンドサンなど統一が必要なものもある。	
	学習規律の確立	教職員・児童アンケートの意識分析 研究協議会の授業考査	家庭学習の習慣化については、学習予定表の工夫や家庭との連携を密にした結果、65%以上の児童が宿題以外の学習をするようになった。	
	家庭学習の習慣化	教職員・児童・保護者アンケートの意識分析		
2 豊かな心	感動できる子	教職員・児童アンケート	感動できる子については、音読発表会や体験活動の時など、自発的に自分の感動や思いを発表できる子が増えており、一定の成果が見られる。	様々な体験を通して、感動する心や感謝する心を意識化させ、言葉で表現する機会を多く与えていく。 フレンドリー活動や地域活動の時だけでなく、普段から異学年の友達とも交流し、互いの良さを認め合う人間関係を構築させていく。
	感謝できる子	教職員・児童アンケート	関係を大切にする子についても、「近所の人に自分からあいさつをする」「友達とよく話をしている」と答えている児童が多く、徐々に成果が出てきている。	
	時間を大切にする子	教職員・児童アンケート		
	関係を大切にできる子	教職員・児童アンケート		
3 健やかな体	基本的な生活習慣の育成	生活アンケート・生活点検表	寒い冬になんでも起きた時刻は、夏の結果とほぼ同じで、70%の児童が7時までに起きている。朝食は、夏より冬の方が食べている児童が多く、95%以上になっている。	就寝時刻の遅い児童に話を聞いてみると、勉強ではなく、テレビを見てなど、何となく遅くまで起きていることが多いので、引き続き保護者と連携を取りながら指導していく。 睡眠の大切さについて、学級や保健室での指導だけではなく、個別にも働きかけていく。
	体力の向上	児童アンケート・ランニングサークルの参加状況	就寝時刻では、11時以降に寝ている児童の割合が、6月と比べて1.5倍になったので、睡眠時間が短くなったと言える。 10月から、1年生も朝のランニングサークルに参加できるようになり、体力も少しづつ向上している。	
4 学校独自の取組	図書館指導の充実	図書館利用状況	図書館利用状況については、学生ボランティアが来られなくなつたこともあり、放課後の利用が進んでいない。中間・昼休みについては、前期と同じように利用者が多い。	図書館利用について、担任・図書館運営指導員などが指導するとともに、9類(物語)以外の本も増やしていく。 次年度も、学生ボランティアなどを募集して、放課後に利用しやすい環境を作っていく。
	規範意識の向上	教師・児童・保護者アンケートの意識分析	情報発信の充実については、毎日HPを更新しているので、アクセス数は確実に増えている。また緊急の場合などPTAのメール配信を利用することもあり、プリントによる情報発信だけではなく、いろいろな媒体を使っている。	
	情報発信の充実	学校HPの更新状況		

3-② 学校関係者評価 【 評価日 : 平成26年3月14日(金)】

評価者・組織 : 学校運営協議会, 学校評議員(いづれかに○)】

評価結果	改善に向けた支援策
地域・家庭が一緒になって、子どもを育ててきたので、子どもたちは成長してきた。 菊花展がなくなつても、植物を育てることは良いことなので、菊の栽培は授業の一環として3年生と女性会とで続けたい。 朝の登校時、ほとんどの児童が挨拶をしているが、一部の児童は挨拶をしない。 通学路を勝手に変えている児童や登校時刻が遅い児童がいる。 見守り隊のメンバーが高齢化してきているので、PTAの方ももっと協力してほしい。 公園のごみの持ち帰りや壊れた立看板の撤去など、自町連とともに町の美化に努めてほしい。	菊の栽培のほかに「地域交流作品展・七草がゆ・抹茶を楽しむ会・6年お茶会」など、引き続き支援していきたい。 食育等、地域の人才を活用して貰えれば良い。 立看板の撤去など声をかけて貰えれば取り組む。 PTAの方でも、見守り隊の活動を支援していきたい。

4 総括・次年度の課題

確かな学力を身に付ける取組、特に国語科を窓口とした言語能力の育成については、学校運営協議会の理事会でも一定の評価をいただいている。今後も、さらなる取組を進め、子どもが主体の授業改善に努めていきたい。

公園での遊び方や登校時の挨拶や通学路について、自ら考えて実践できる子どもを育てていきたい。

児童・学校・PTA・地域の4者会議を今年度初めて行ったが、次年度も、さらに発展させ、具体的な取組を進めていきたい。